

議会運営委員会会議録

- 1 日 時 令和5年10月11日(水)
会議時間 15時30分開会 16時14分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：橋本晃明
委員：只野敏彦、川上均、中河つる子、深沼達生
議長：山下清美
- 4 事務局 事務局長：大尾 智、次長兼総務係長：川口二郎
- 5 議 件
(1) 議会報告会と町民との意見交換会について
(2) その他
- 6 会議内容 別紙のとおり

【開会 15:30】

(1) 議会報告会と町民との意見交換会について

委員長（橋本晃明）： 只今から議会運営委員会を開催する。まず、議会報告会と町民との意見交換会についてである。当日配布資料等の説明を事務局から願います。

事務局長（大尾 智）： 写真付きの表紙のレジュメ、前回もお配りしていたが完成していなかった、今回最後まで埋めて、最後の45、46ページにはグループ討議のメモ的なものを付けている。ちょっと厚くなっている理由としては、1年間の報告であるが、例年は5月にやっていたので前年度1年間だったけれども、今回は10月になったので、今年度の前期、9月議会まで載せている関係で、全部の項目ほぼ4年度1年間プラス9月までということで若干長くなっている。表紙の裏側には、後ほど確認していただきたいけれども、当日の役割分担とグループ討議の時の分担分けをしたので議論いただければと思う。それと、当日のシナリオということである、これも後ほど見ていただく中で確認していただきたいが、昨年までのところで1ページ目の波線の引いてある部分については、昨年も、既に議会で議決した内容について、個々の議員が見解を述べるという事にはならないと思うので、その部分は踏襲したい、あと、政策の形成過程の事項について議員の見解を求められた場合は、テーブルにいる議員の意見を発言していただくというようなことをルールとして設けていったほうがいいのではと思っている。あとは3ページ目のところ、司会者の説明のところであるが、1、2、3のテーマがあると、3ページのところでテーマ①については今までの流れだとか、全国的、全道的な部分を記載している。②については開かれた議会の部分でネット中継の部分等について書かれている、3つ目は自由討論で日頃考えている議会に対する思いについてお聞かせ願えればというようなことを書いている。それに伴って、グループディスカッションの時に参考となる資料ということで、議員定数と書いてあるところ、7千人から1万2千人程度、清水が真ん中くらいになるような人数のところを網掛けで示している、その横には議員1人当たりの人口を出した。その横には女性議員の比率を出している、25%を超えているところには点線で囲っている、十勝のところは黒い太線、清水町は二重線のところである。単純に人口と議員数は比例しないとは思いますが、参考になるように全国議長会で取りまとめたデータを加工したものを作った。それから、月額報酬の部分であるが、こちらも同じように7千人以上1万2千人以下のところに網掛けをしている、全部の平均を出すのは難しいところだったので、北海道だけ出してみた、それがその横に書か

れている、議長、副議長、議員、町長、それから十勝全体を出している、括弧内の音更減額後であるが、これは音更がこの資料によると半額にしていた、ただ、今年度戻っているという話もあったので、これは後程確認させていただく。それから、横長のものについては、これも全国議長会が取りまとめた数字である、インターネット配信から始まって、広報の関係、議会モニターの関係が記載されているが、見づらいので見やすいように修正するが、その辺が他町と比較できる場所である。それから、模擬議会だとか議会報告会の実施、こうやって見るとあまりやっているところは案外少ないと改めて感じたけれども、その辺も比較できると思う。それから、議会のデジタル化、タブレットの導入、委員会のオンライン化、委員会がネット中継しているかどうかの調査は見当たらなかったけれども、十勝管内でいえば芽室町は委員会もネット中継しているということである。いずれにしても改めて見るとそれほど導入しているところはまだないという状況もあるので、これを当日、資料として量が多くてどうかという気がするけれども、グループディスカッションで話していただく時の話の材料としては何らかのものが必要ではないかと思って作ってみたので、実際に当日の配布等について決めていただければと思う。

委員長：役割分担と進行について、前回決めたことの確認みたいになるけれども、これはよろしいか。

川上委員：議会報告の部分はどれくらい、これを見たら10分程度となっているけれども。

事務局長：基本的に前回のところを踏襲しているが、今回議会報告と意見交換のところははっきり分かれる形になっているので分けたけれども、時間配分等については特に変えていないので、説明10分程度でそれに対する質疑等で長くても20分とか、そこを短くできればグループディスカッションの時間を多めにとれると思うので、ただそこで色々やりとりがあって、例えば30分かかってしまうと残り1時間ちょっとしかグループディスカッションに取れなくなるので、最初20分くらいで終わればその後1時間半近くは取れる、目安を遅くても9時には終了したいとしているので、8時45分か50分を目途にもらい最後締めるという感じだと思うので、そうすると最初の説明が15分、20分で終われば1時間半、議論の時間が3つのテーマがあるので30分くらいずつ時間を取れると思う。

川上委員：報告はいるのかなと思う。既に終わっていることだし、ましてこれに対しての質問は受け付けないと、終わった事だからはっきり言って、だからこれは見てもらう、こういうことをやりましたということ、来ている人はだいたい見たり聞いたりしていると思うのでいらない、せっかく作ってもらったけれども、これは資料としては配布するけれども、報告は必要ないのではないか、質疑含めて。

只野委員：私も賛成である。

深沼委員：今までやってきた中でも、端折りながらやっても20分とか結構かかっているの
で、報告ということで今までやってきた部分の結果だけなので、目を通してもら
うという形で、意見交換の部分に時間を費やした方がいいと思う。

中河委員：深沼委員と同じようにいいと思う。

委員長：議案番号と議件の名前だけ羅列している感じなので、紙がもったいないという気
もしてくる、この時代になってくると。これすらもいるのかという気がしてくる
けれども、報告は目を通してくださいという形の説明はできると思うけれども、
これを参加者全員に配るかどうか。

事務局長：去年までの説明のやり方を知らないが、個別に説明はしていないか。

委員長：暫時休憩する。

【休憩 15：45】

【再開 15：48】

委員長：休憩前に引き続き会議を開く。

事務局長：報告者は残しておいて、答弁者は削るか、別に質疑を受けないのであれば。

委員長：なるべく簡便に、何が書いてあるかだけ説明して終わりにしたらいいと思う。

事務局長：では、次第の報告者の欄だけ残しておく。答弁者は削って、シナリオからも答
弁の受付は削除する。

委員長：配布だけで、中身については触れないという事でよろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：次に、周知文を発送するとかチラシ折り込みを配布することになるが、それにつ
いてもよろしいか。

事務局長：グループ分けで司会者と記録者与其他、4グループ程度に分けるという話を
前に頂いたので、そうなると、議長除いて3名ずつで分けた、この分け方でいい
かどうかというところも確認していただきたい。

委員長：特に深く考えてはいないけれども、グループ討議の配分はこういうことで進める
という事でよろしいか。人数が大幅に変わった場合は当日変更もあるかもしれな
いが。

事務局長：当日、すごく多くなってもこれ以上分けて議員がテーブルに一人しかいないとなるとあれなので、考えられるのは人が少ないから4つもグループがいないのではないかということは考えられると思う。でも、20人いれば5人ずつ、議員3人入って8人であれば少なくとも思う、基本このままで。

只野委員：わがまま言って申し訳ないけれども、私のところ佐藤議員と山本議員変えてもらえないか、その方が自分がやりやすいと思って。

委員長：その調整は後でということで、基本はこれで事務局に一任するという形をお願いしてあったので、基本的には変更しないということでいきたい。

川上委員：まず一つは、私が前回求めたのは、前回の報告のもので、その中で経過、議員定数と議員報酬の議論をしているので、その部分だけ抜粋して出して欲しいという部分と、議員報酬の考え方、前回出している、試算について資料4として、これが大事だと思う。今回せっかく作ってもらったけれども、もし出すのであれば十勝管内だけでいいと思う、必要であれば、それ以上はあっても必要ないと思う。大事なのは前回の議論の経過が大事、それをきちんと皆が押さえておかないと、それが議論の原点だから、前回の報告は何回か言っているけれども、例えば議員定数にしても今の4委員会を維持して皆で議論していくためには、やっぱり今の人数が必要だから13人にしているとかいう議論が前回なっているし、議員報酬についても一応上げるということになってはいたけれども、最終的には上がらなかったが上げることで政務活動費は議論していなかったのだから、上げなかったら逆に言えば今後政務調査費、活動費をどうしていくかという議論も必要になってくると思うから、そういうものを土台にしながら議論していかないと、ただ人数比較で1万人切ったからうちは多いだとか、少ないだとかいう議論、そんな表面上の議論だけしたって意味がない、共通認識を持ちながらやらないと意味のない議論になってしまう、ただ多い少ないの議論になってしまうという事で、その経過を踏まえた中で議論するべきだという話を前回させてもらったので、そこをもう一回整理してもらいたいと思はる。

委員長：前回の報告書が全てではないと思うけれども、ただ考え方として人口が1人千人くらいが適当ではないかとかいう、単純なものではないという形の中できちんとした議論をしていかないとだめだと思う。13人に減らした時も色々あったけれども、一桁のところもあるし色々だけれども、清水として13人ということにしたところはなぜかと言うのは踏まえたうえでないと次はいけないのかなとは思はる。資料については川上委員からは管内だけで十分ではないかと、私も同意見であるが他の方はどうか。参考にというのであれば全国平均とか、そういう数字があるのであれば使ってもいいのかもしれないが、全部並べてというのも、1冊くらいそこに持って行って説明するという場面はあってもいいかもしれないけれども、これを全員に配るという必要はないと思はる。

事務局長：今、川上委員が言われた前回の経過で議員報酬と定数の抜粋、試算を作ってみる。

委員長：町民の方はやっぱり隣の町はどうなっているのか興味があると思はる。暫時休憩する。

【休憩 16：01】

【再開 16：04】

委員長：休憩前に引き続き会議を開く。参加者のグループ分けについては、ある程度ラン

ダムに分かれてもらうということによろしいか。

(「はい」との声あり)

委員長：あと議会報告会について何か皆さんの方からあるか。なければ次に10月13日議会報告会と町民との意見交換会に向けた勉強会について、事務局から説明願う。

事務局長：1枚ものの裏表で行政視察次第というのがある、芽室町議会で作っていただいで、裏面見ていただくと、3名欠席の予定である。それから芽室町議会の方からは議会運営委員長、副委員長、厚生文教常任委員会の委員長、副委員長、そして安田事務局長が対応いただけるということである。冒頭の挨拶を議長、終了の挨拶を副議長にお願いしたいと思う、それから4番の調査事項と説明ということで、グループワークの実践ということでお願いしてあるので、参加者で実際にグループワーク10名なので、半分くらいずつぐらいいに分かれて、その辺は芽室町にお任せしてあるが、分かれていただいてグループワークを実際にやってみようという形である。そこでたぶん芽室町のグループワークでは模造紙を用意して、そこに発言した人の発言をポストイットで視覚化できるように貼って、それについて、例えば誰かが発言したのが張られると、それに対して似たような意見のところ貼っていくとか、そのようなやり方をやられると思う。必ずしもそれと同じようにやる必要もないが、たぶん芽室町のやり方としてはそのようなやり方をすると思う。

委員長：これについて何か皆さんの方から質疑あるか。なければその他、議会報告会と町民との意見交換会についてないか。

(「なし」と声あり)

委員長：それでは(2)のその他、議会報告会と町民との意見交換会について、どのようにやるのかということ全員協議会の場で説明する必要がないかというところがあって、当日の進行だとか役割分担だとかについて意見を伺いたい。

深沼委員：18日の模擬議会が終わった後に全員協議会を開いた中で説明したらいいのではないかと思う。

委員長：全員協議会を開いて、そこで進め方について説明するという、他の方は。

只野委員：それでいいと思う。

中河委員：よろしいと思う。

川上委員：いいと思う。

委員長：それでは、深沼委員から18日の模擬議会終了後にやってはどうかということであったがよろしいか、時間的には今日の議運と同じような3時半くらいになると思うが、そのように進める。次に、議長から。

議長(山下清美)：この間、広報委員長から広報に載せる中で、9月定例会の決算の関係の審議について、決算についてはこういう内容で審議したという部分で説明を載せるということで話があった。それに対して川上委員からも話があったり、広報委員会の中でも決算の審議の進め方で話があったので、そういった部分を決算についてはこういう目的で審議しているということを広報に載せるということで、

そして、そういった部分で来年度の決算の審査以降については、川上委員からも話があったように、色々な部分で未来につながるような部分も含めた議論を進めていこうということで、議運の中で制限をかけないでという部分を確認しながら進めていこうと思っているので、また、これからも勉強しながら例年の審議に向かっていきたいと思うので、そういった部分をちょうど今全員協議会を18日にやるということだったので、それに含めてそういった話もさせていただきたいと思う。よろしく願います。

委員長：そういうことであるが、議長がそのようにしたいということなので。議会運営委員会としては、開会前の報告の中でも触れたけれども、決算の審査を通じてより良い予算を作っていくとうたっているもので、それは議運でも確認していたはずなので、そこは原則としてあるし、皆の共通認識であったというように思っているもので、その路線でお願いしたいと思う。その他、皆さんから何かあるか。

（「なし」との声あり）

委員長：なければ次回の開催であるが、模擬議会の後の全員協議会終了後に行うということで進める。それでは、これで本日の議会運営委員会を終了する。

【閉会 16：14】